



小川亮

「安八町出身のストリートアーティスト」

巻頭特集

スプレー缶を片手に
描き上げる独自の世界

近年、安八町が

ストリートアートファンの間で注目を集めている。

町内に点在する水防倉庫やコンテナなどに、壁画が描かれているのだ。

道行く人は突然目の前に現れる、その詩情豊かな絵に思わず足を止め、見入ってしまう。作者は安八町出身の小川亮さん。

アーティスト名を「RoamCouch」といい、

ステンシルを用いて描く作品は、世界的にも人気が高い。

RoamCouch

今も無理をすると体調
を崩してしまうという
小川さんだが、作品に
取り組む目は力強い

糸を持ち新たに目指した夢



小川 亮 RYO OGAWA

1976年、安八町生まれ。2011年頃からRoamCouch名義でアーティスト活動を始め、世界各地のグループ展に参加。2014年には初の個展をニューヨークで開催し、2017年に国内での初個展「Memories」を開く。2019年は2月のハイ・オアフ島におけるアートイベント参加を皮切りに、4月にイギリス、夏にドバイ、秋頃に東京と、個展開催やイベント参加などが予定されており、今後益々の活躍が期待されている。

高校卒業後、デザイン会社に入り、デザイナーとして経験を積んだ。しかし、広告デザインの世界は顧客の意向が第一で、個性は求められない感じた。それがプロと理解していしたもの、仕事に感じ出したズレは、なもの、仕事を感じ出したズレは、

小川さんの心と身体を次第に蝕んでいき、ついには大病を患ってしまう。

「そんな時、妻が自分の好きなことをやってみたら、と言葉をかけてくれたのです。そこではじめて自分のやりたいことは何なのか、原点に戻ったのがきっかけで、アーティストを志しました」

まずは世間から注目してもらおうと、SNSに有名ストリートアーティストを真似た作品を投稿していく。やがて小川さん独自の作風がインターネット上で評判になり、注目を浴びる。2014年にはニューヨークで初の個展を開催し、コレクションが完売した。

多彩な色使いと印象的な景色 鑑賞者の目を奪う作品の力

ストリートアーティストといえば、バンクシーを思い浮かべる人は多いだろう。グラフィティ（スプレーなどを使った落書き）の世界に、ステンシル（型紙）の技法を取り入れたペイオニアである。

ステンシルアートとは型紙を切り抜き、その型にスプレーすると、型

の抜けている部分に図柄が浮かび上

がる技法を指す。多色摺りの木版画である浮世絵が色ごとに版本を作るよう、複数の型紙を用いることで、何色もの色を重ねて描ける。

小川亮さんはステンシル技術も評

価されている。パソコンで原画を描

いた後、各色の型紙を起こす。かつ

ては使用する色の数だけ型紙を作

っていたが、現在は1枚の型紙を複数

の色に対応させているそうだ。それ

でもキャンバス作品で20枚ほど、壁

画となれば100枚を超える。その

1枚1枚を小川さんは手作業で切り

抜いていく。

色付けにはスペイン製の速乾性ス

プレーペイントを使う。作業場には

300種類を超える缶が並び、微妙

な色相の差をすべて把握していると

話す。時にはミリ単位となる切り込

みと多彩な色使いが、独特的なきめ細

やかで、淡い色合いのグラデーション

を生み出している。

「技術的に細かく、綺麗に仕上げ

るだけでは駄目。それを打ち消して

しまうくらい、絵としての力というか、プラスの何かがなくてはいけません。でもそれは、自分を理解してほしいとか、強いメッセージではない。單純に絵を見た人が幸せな気持ちになつたり、元気になつたり、良いな

と思つてくれる作品を目指しています」と小

川さんは言葉に力を込める。

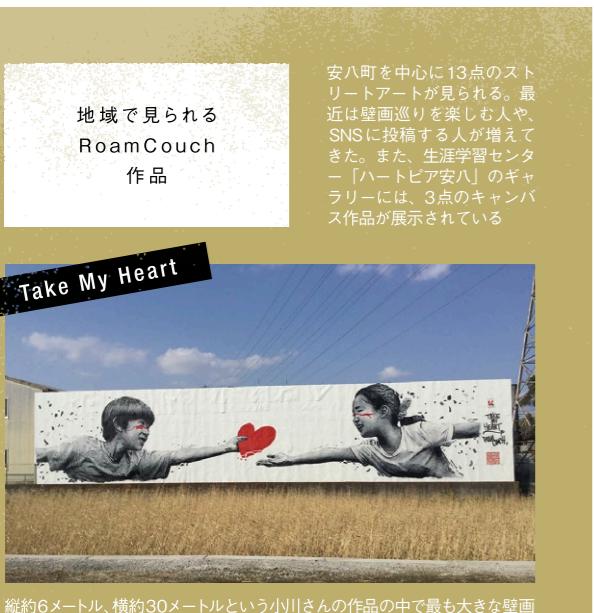
しまうくらい、絵としての力といっか、プラスの何かがなくてはいけません。でもそれは、自分を理解してほしいとか、強いメッセージではない。単純に絵を見た人が幸せな気持ちになつたり、元気になつたり、良いなと思つてくれる作品を目指しています」と小川さんは言葉に力を込める。



型紙の上からスプレーイントを吹きかけ、絵を描いていく。黄色いテープはマスキングテープで、型紙の補強や汚れ防止に使う



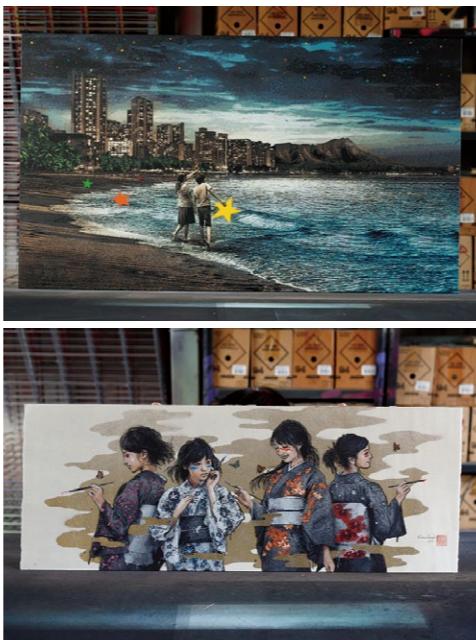
安八町を中心に13点のストリートアートが見られる。最近は壁画巡りを楽しむ人や、SNSに投稿する人が増えてきた。また、生涯学習センター「ハートピア安八」のギャラリーには、3点のキャンバス作品が展示されている



小川さんの母校、結小学校南側にある防災倉庫の壁画。大勢の子どもたちと動物たちが元気に笑う



描かれたのは入方水防倉庫。少年が漕ぐゴンドラに乗った少女が美しい星を掲げる、ロマンチックな作品



上)「星に願いを」ハワイのキャンバス作品。下)OKB体操アリーナの壁画と同じ「四季」を、本美濃紙に描いた作品。シルバーのラメが施され、華やかさが増している。小川さんによれば、本美濃紙は年月とともに白みを増し、作品の表情も変化していく

モノクロームの街並みに、カラフルな虹がいくつも降っている作品で、「星に願いを」というシリーズでは、明け方にも夕暮れにも見える暗

い」となっている

モノクロームの街並みに、カラフルな虹がいくつも降っている作品で、「星に願いを」というシリーズで、明け方にも夕暮れにも見える暗い」となっている

青色の空や風景の中に、ビビッド色の星が配されている。また、「Nade shiko」は番傘をさす女性を描いたもので、背景の黒に着物の柄と番傘の朱が映え、色とりどりの蝶が舞う。

「実は葛飾北斎や俵屋宗達、狩野派の絵師が描いた浮世絵や錦絵の要素を作品に落とし込んでいます。東海道五十三次などの浮世絵に見られる、人の動きや物語性などにも強く影響を受けていて、日本らしさを意識して描く場合が多いですね」

モノクロームの街並みに、カラフルな虹がいくつも降っている作品で、「星に願いを」というシリーズで、明け方にも夕暮れにも見える暗い」となっている

青色の空や風景の中に、ビビッド色の星が配されている。また、「Nade shiko」は番傘をさす女性を描いたもので、背景の黒に着物の柄と番傘の朱が映え、色とりどりの蝶が舞う。

「実は葛飾北斎や俵屋宗達、狩野派の絵師が描いた浮世絵や錦絵の要素を作品に落とし込んでいます。東海道五十三次などの浮世絵に見られる、人の動きや物語性などにも強く影響を受けていて、日本らしさを意識して描く場合が多いですね」</p